



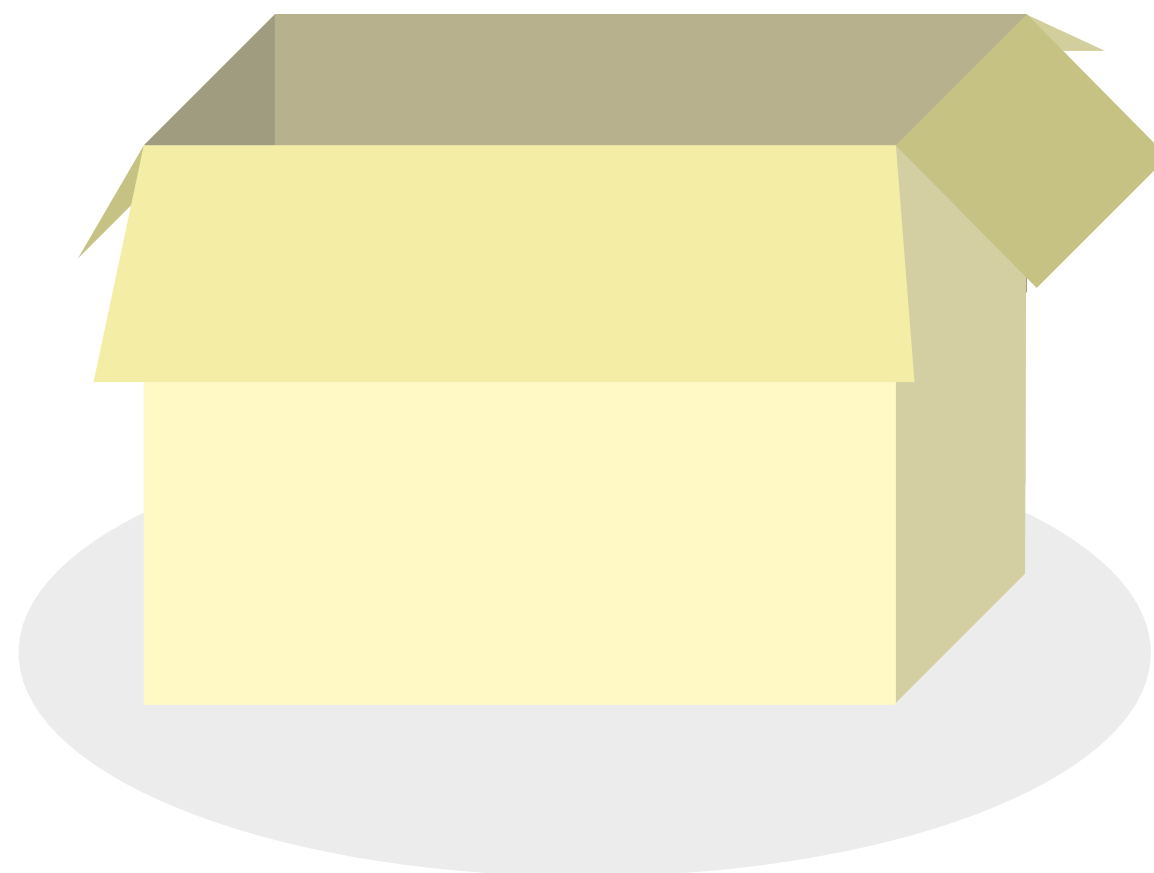
カネパッケージ 株式
会社
KANEPACKAGE CO., LTD.

01

会社概要

Company

Open!



私たちは、“つつむ、届ける”を科学するスペシャリスト
「包む技術」で届けるのは、驚きと感動。

驚き

滞りのない“見える”化

製品が流通する環境での衝撃や震動を緩和して、製品を保持する「緩衝材」を開発する。

- ・独自のネットワークを展開
 - ・梱包から配送までをフォローする
- “トータル物流体制”

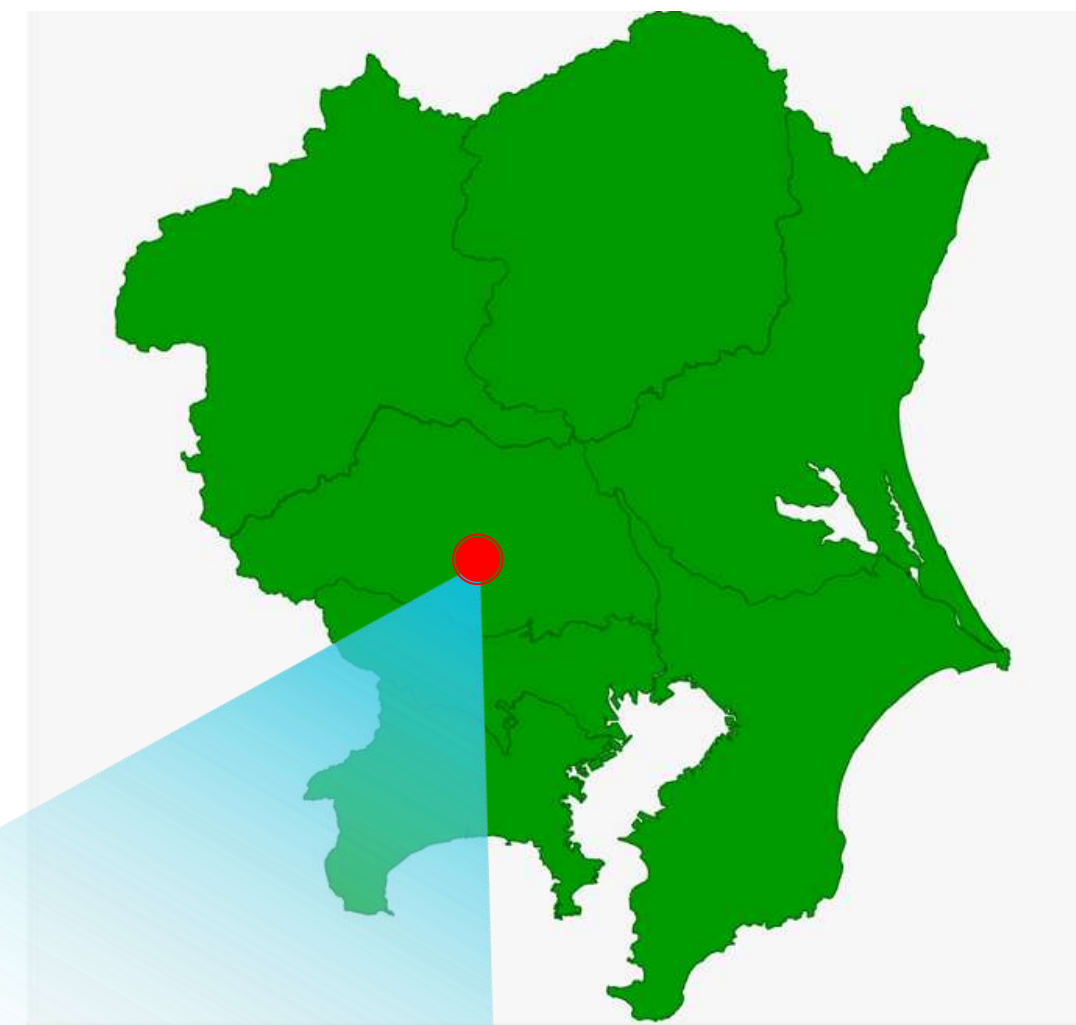
感動

質の高いサービス

機能やコストはもちろん、高まるエコロジニーズにも対応すべく、「包む」技術を駆使したご提案をさせていただきます。

会社概要

会社名	カネパッケージ株式会社
所在地	〒 358-0046 埼玉県入間市南峯 1 0 9 5 － 1 5
事業内容	梱包資材・緩衝材の設計・開発 物流サービス
資本金	5,000万円
設立	昭和51年9月
従業員数 〈グループ全体〉	1500名（国内210名）



14法人27拠点 グローバルに展開

3法人10拠点

- ・入間本社（埼玉）
- ・東京営業所
- ・神奈川営業所
- ・柏営業所（千葉）
- ・大阪営業所
- ・東北営業所（青森・白河）
- ・SANKO MEDICAL
- ・TKWorks

国内



11法人17拠点

- ・ベトナム 2拠点
- ・フィリピン 9拠点
- ・タイ 1拠点
- ・インドネシア 1拠点
- ・中国 1拠点
- ・香港 1拠点
- ・カナダ・メキシコ
(関連会社)

国外

02

事業内容

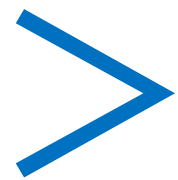
Business



梱包事業～つつむ、届ける～

「包む」技術で お客様へ「驚き」と「感動」と「安心」を

緩衝材のご提案・開発。お客様の製品を安心・安全に運搬するための、あらゆる流通環境に対応した緩衝材を開発・提案します。

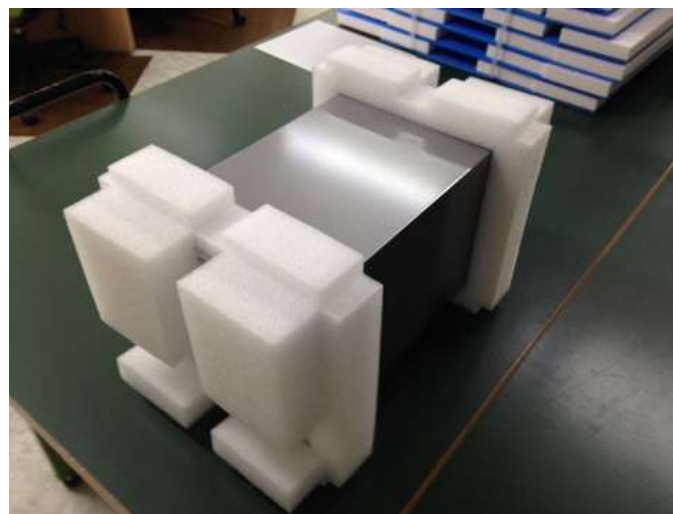


緩衝性能

コストダウン

エコロジー

発泡体 各種メーカーを取り扱い



通い箱 小箱から大型コンテナまで



段ボール 最小限の材料で省スペース



成型品 数量が多い物は金型で成形



医療機器用梱包材



コスト改善の事例紹介 少なく・短く・効率アップ！

～電子管の梱包部材削減～



お客様の製品を
豊富な試験設備で品質保証！

豊富で高性能な試験装置

早い！試験データも即日お渡し

製品性能試験にも活用可能！



【圧縮試験装置】



【恒温高湿槽装置】

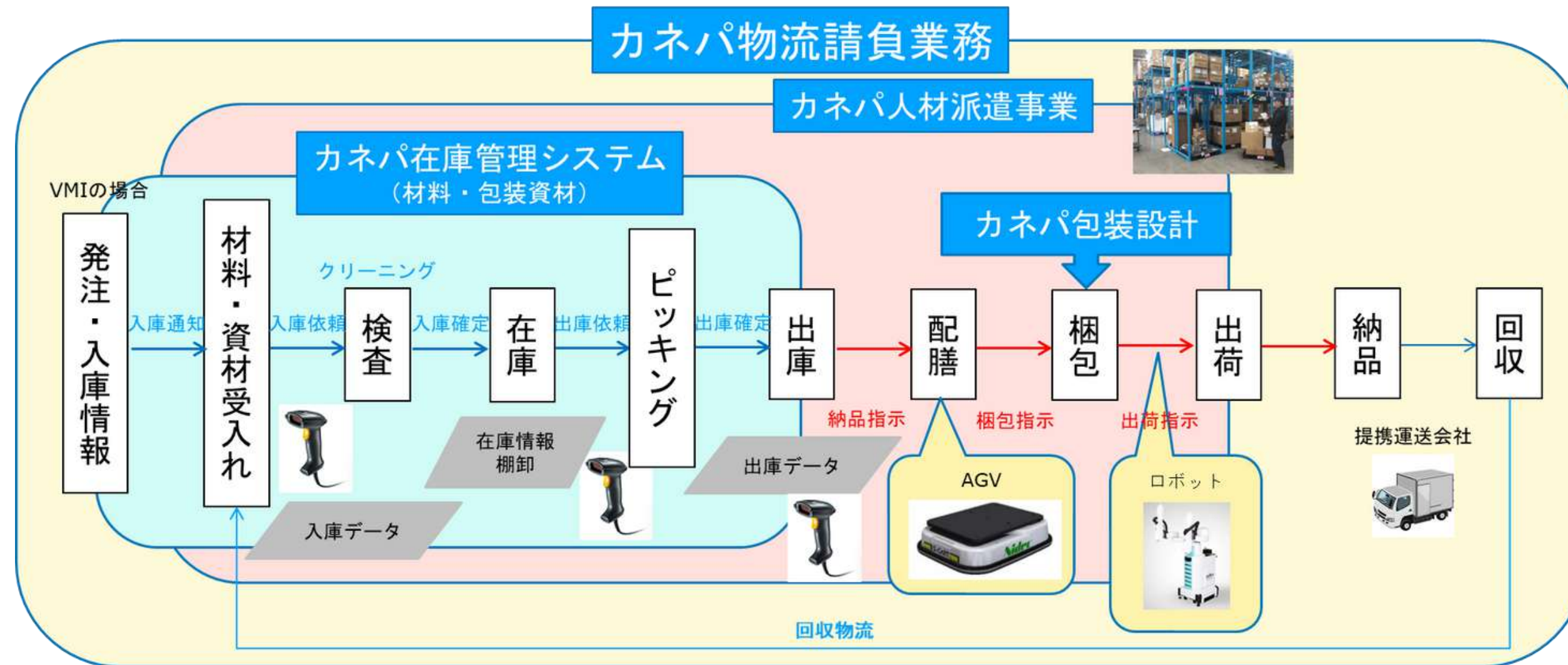


【2軸同時振動試験装置】



【落下試験装置】

お客さまビジネスの現状と将来に向けた事業戦略を踏まえ、最適な物流センターネットワーク、物流システムの構築を支援しています。



情報や工程をシステムベース化。貴社の要望に応じたシステムをより効率的に、確実にカスタマイズ

叶うこと

- ・開発費を安く抑える
- ・開発、運用が早い！
- ・労務管理負担軽減



株式会社 Sanko Medical



吸引・吸入器



壁掛け吸引器



吸引器



酸素吸入器



小動物用麻酔装置

03

KPGreen Earth事業とクレジット化

Mangrove Projects and Carbon Credits

Open!



(目的) 環境保全及び地域経済への貢献

1 環境

地域社会や行政との連携、支援
によるマングローブ植樹の実施

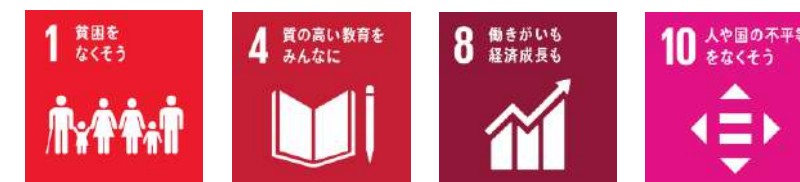
環境天然資源省(DENR)や地域住民
とタイアップ



教育、学校設立プロジェクト、
奨学金プログラムでのサポート

2 人々への支援

学校の校舎や福祉施設などの寄贈及
び学習用品などの寄付



3 安心、安全 福祉

沿岸地域の生計プロジェクト、
ステークホルダーの福祉
および診療所プロジェクト

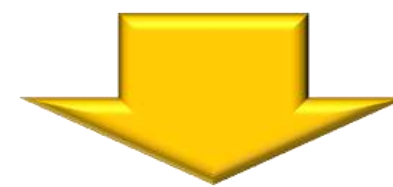
医療支援等



何十万ヘクタールものマングローブ林が海老の養殖のため伐採



当社が最初に海外展開を始めたフィリピンへの恩返しの意味も込めて。



2009年～ マングローブ植林をスタート！

プロジェクトの立上



オランゴ島における活動について現地当局とのパートナーシップ署名 | 2010年2月



ボホール島タリボン及び近隣地域での活動についての現地当局との署名 | 2012年8月



西ネグロス州ビナルバガン及びカバンランでの活動及びコミュニティとのパートナーシップ署名 | 2019年11月

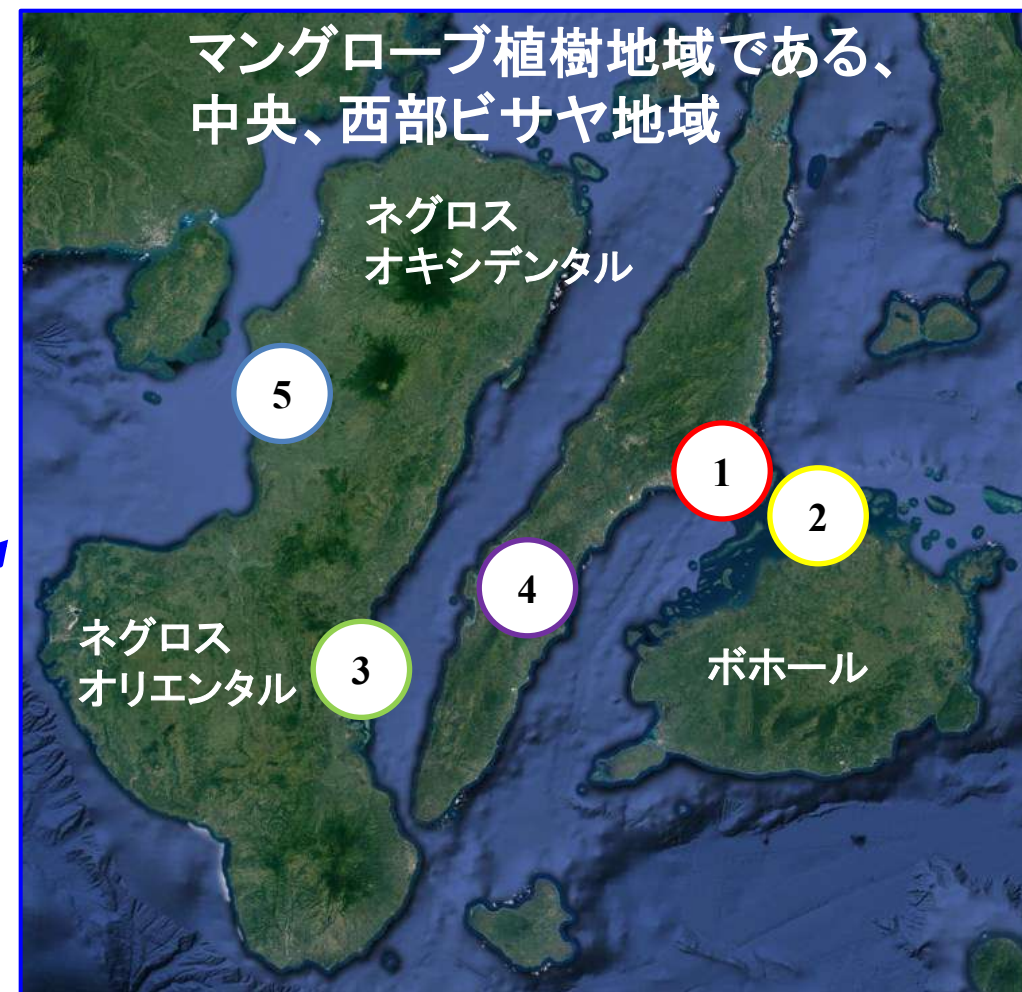
KPGreen Earthプロジェクトの立ち上げ及び協力いただける各地域にて署名

カネパッケージグループは、マングローブ植林地の保護と管理を確実のものとするために、フィリピン共和国のリージョン7（中部ビサヤ地方）の環境天然資源省（DENR）、地方自治体、その地域のコミュニティおよび市民組織とパートナーシップを提携。

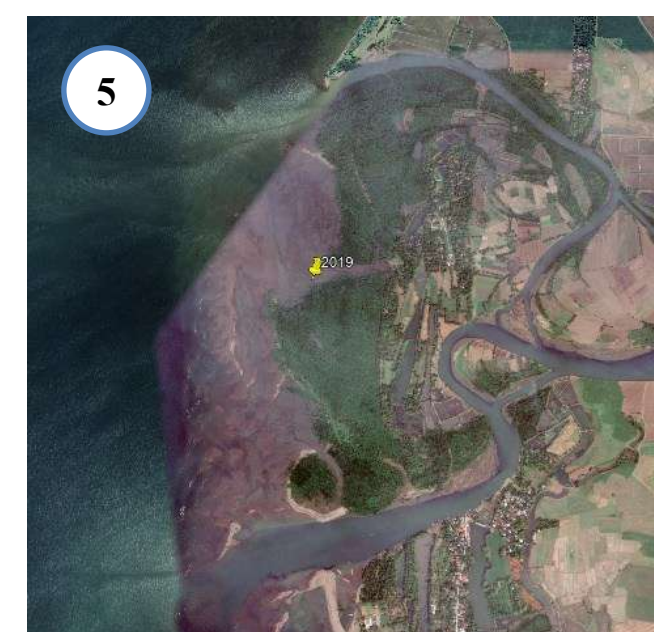
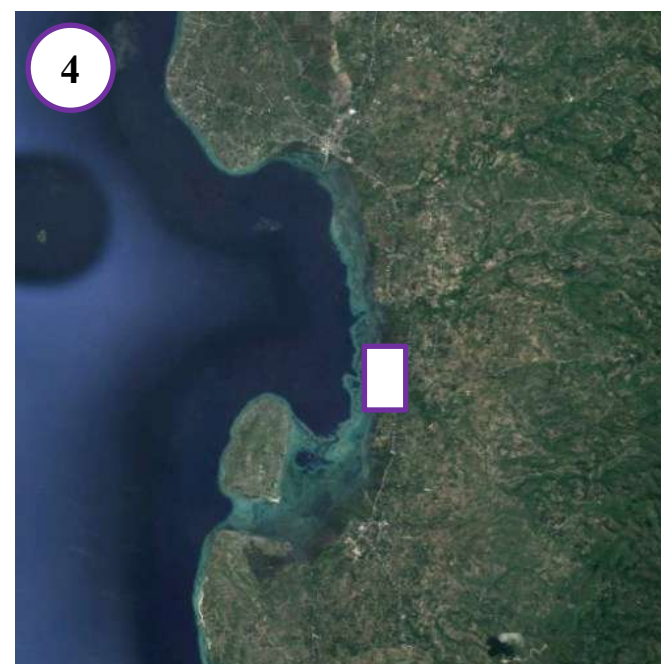
提携する市民組織と地域コミュニティにマングローブの植樹や定期的な管理に有償で協力してもらうことにより、環境保全でなく、地域経済や教育等への貢献にもつながっている。

植樹後のモニタリングも、カネパッケージグループのスタッフとともに実施しており、定期的に訪れて確認および管理の実施。

マングローブ植樹地域の衛星写真



1. オランゴ島 (セブ) - 2009
2. パナコン島 (ボホール) - 2011
3. タンジャイ市 (ネグロスオリエンタル) - 2013
4. バディアン (セブ) - 2017
5. ビナルバガン (ネグロスオキシデンタル) - 2019



マングローブの成長過程



衛星写真より



マングローブ植樹事業(年2回の植樹体験ツアー)



Phase 1 in Brgy. Sabang, Olango Island | November 10, 2009



Phase 2 in Brgy. Pangan-an, Olango Island | February 12, 2010



Phase 3 Brgy. San Vicente, Olango Island | November 28, 2010



Phase 4 Brgy. Sabang, Olango Island | June 5, 2011



Phase 5 Brgy. Sabang, Olango Island | August 5, 2011



Phase 31 Banacon, Bohol | February 10-12, 2024



Phase 32 Badian, Cebu | February 23-26, 2024



Phase 33 Banacon Island, Getafe, Bohol | October 13, 2024



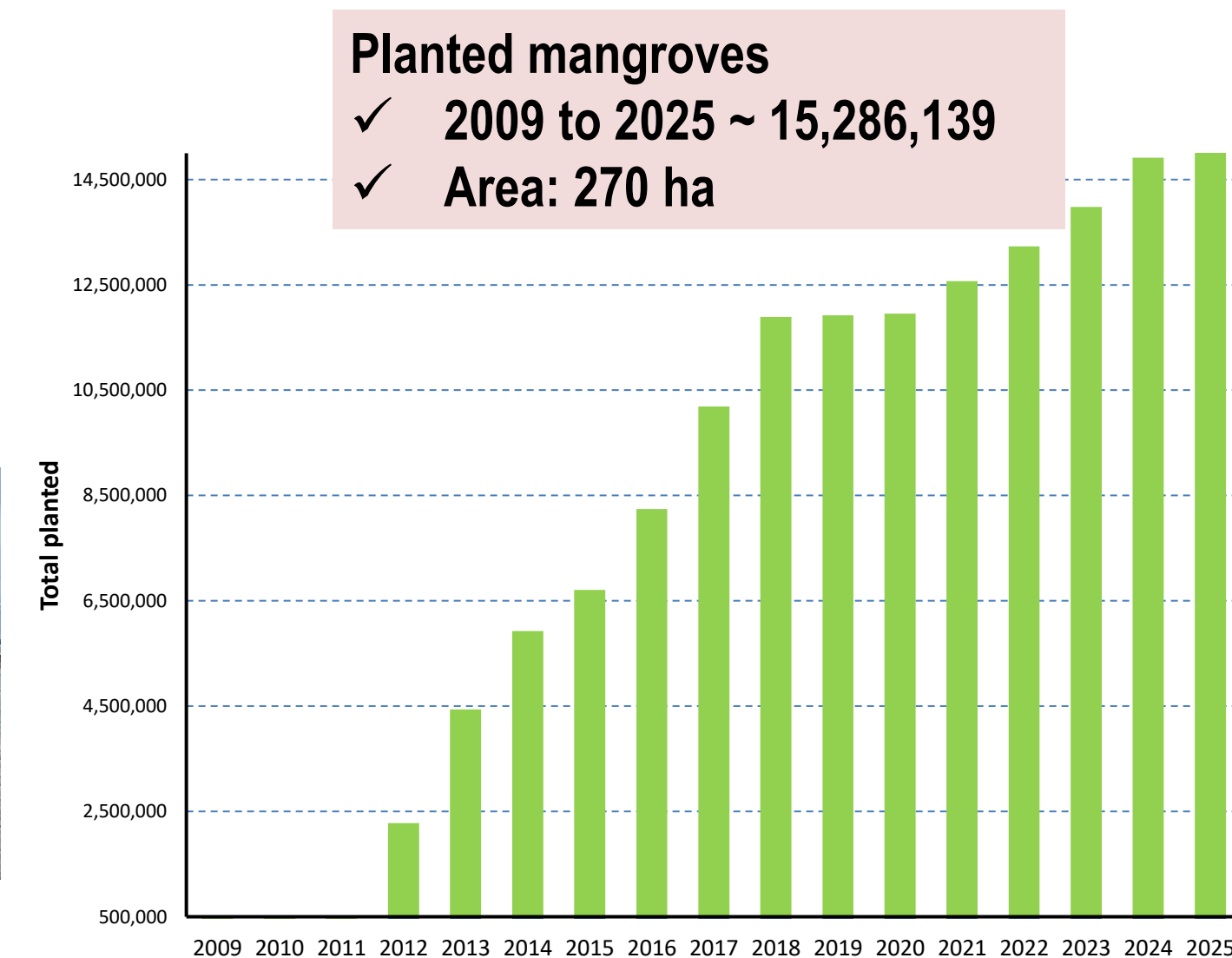
Phase 34 San Vicente, Olango Island | Sep 28, 2024



Phase 35 Banacon Island, Getafe, Bohol | November 23, 2024



Phase 36 Banacon Island, Getafe, Bohol | February 23, 2025



植樹本数

私たちは、グループ全体の売上の0.1%を使って、環境改善活動に取り組んでいます。その中でも力を入れているのが、マングローブの植樹活動。植えたマングローブは、東京ドーム72個分の量に匹敵します。

15,291,139本

(2026年3月現在)

“カネパ” が植えたマングローブ

Environmental preservation activities.



マングローブ植樹事業(新たな植樹地)

**Banacon Island,
Getafe
250 ha**

- ❑ **Town:** Talibon
- ❑ **Brgy.** Guindacpan & Calituban (total 20 ha)



DENRとの基本合意書を締結



Aug 26, 2025 | Pasay City

地域住民への説明



2009年～ 企業価値向上(ブランディング化)の一環としたマングローブ植樹開始

～取り巻く環境の変化～

パリ協定の採択、カーボンニュートラルの宣言、上場企業への情報開示の義務化、温暖化ガス削減目標の遵守



**供給網（サプライチェーン）全体での削減要請（Scope 3）
への対応が中小企業でも求められる環境**

2025年7月

マングローブ植林活動およびカーボン・クレジット（CO2削減価値）の創出に向けた
業務提携を締結

ShinMaywa



 **カネパッケージ** 株式
会社
KANEPACKAGE CO., LTD.

- ・ マングローブ林における推定炭素蓄積量の測定および算定技術の確立
- ・ フィリピン政府機関とのカーボン・クレジット制度策定に向けた協議および現地での植林管理の推進
- ・ マングローブ林由来のカーボン・クレジット制度の新設および認定取得の推進
- ・ カーボン・クレジットを活用した両社のCO₂排出量の一部カーボン・オフセットの実現

<現在の状況>

*フィリピン政府関係機関との連携

> DENR(Region7)からDENR本体との協議

*植林活動の貢献度可視化(林野庁事業)

> 底生生物の可視化や生物多様性の調査

*専門家との連携

> クレジット獲得までの進捗管理及び、現地での
提携先模索(大学教授)

<植林実績>

- ・ オランゴ島 : 29.34ha
- ・ バナコン島 : 282.65h
- ・ バディアン : 1.53ha
- ・ ビナルバガン : 2.45ha
- ・ ギンダックバン : 5ha



①採算性

国際的な認証機関（VerraのVCSやGold Standardなど）に申請・承認を受けるための調査費、サードパーティ（第三者機関）による監査費用と継続的なモニタリング費用

②継続性

クレジット化までは5年～10年必要。将来的なリスクは？

③現地国の法改正や自国優先

国の排出量削減を優先された場合は

④専門性

PIN、PDD、方法論等専門性が高い情報が多く、対象国によってルールが整備されていないこともあり、補助金等の活用による専門家からのアドバイスは必須

⑤他企業との共同コンソーシアム組成

規模のメリットによる採算性の改善やリスク分散



貴社の製品の
～想い包み込む、魅力届ける～

驚きと感動の梱包
“カネパ”にお任せください

ホームページ

